平成24年4月25日発行

町民と議会を結ぶ広報誌

太子町議会だより
和のまち

No 162

平成24年度予算決まる　P2～3

町長施政方針を問う　P4～5

予算特別委員会開く　P6

8人の一般質問　P9～13

題　字：杉本ひまり（龍田小3年）
表紙絵：八木美咲（太子東中3年）

発行／兵庫県太子町議会　TEL079-277-5995　編集／広報広聴常任委員会　メールアドレス／gikai@town.hyogo-taishi.lg.jp

実現に向けて　第1回定例会

平成24年第1回定例会が、2月24日から3月23日（29日間）の会期で開かれました。24年度当初予算・23年度の補正予算・条例改正など計25議案、諮問3件、同意1件、発議1件をすべて可決しました。また町長の24年度施政方針に対し、4人が総括質疑を行いました。

チェック the 予算

24年度一般会計 約95億円

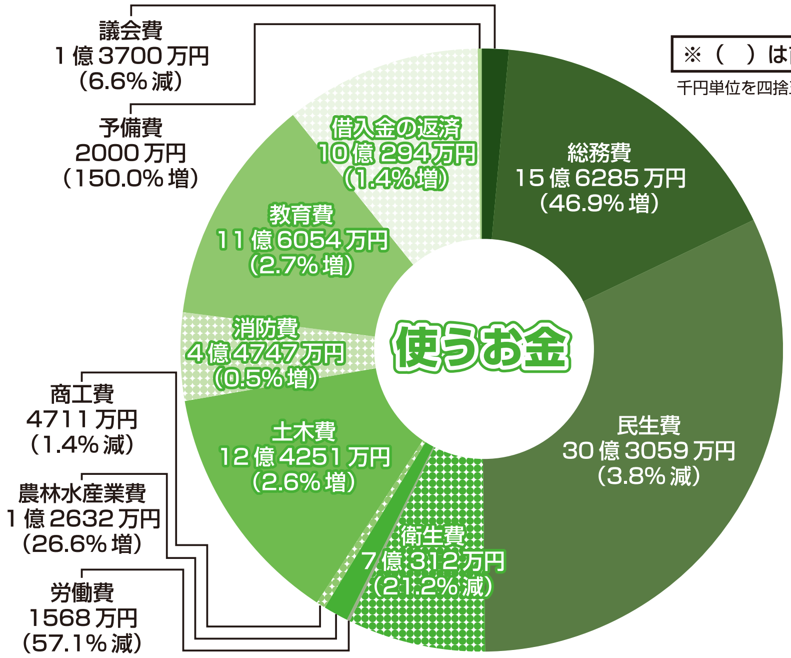
（前年度比3.0%増）

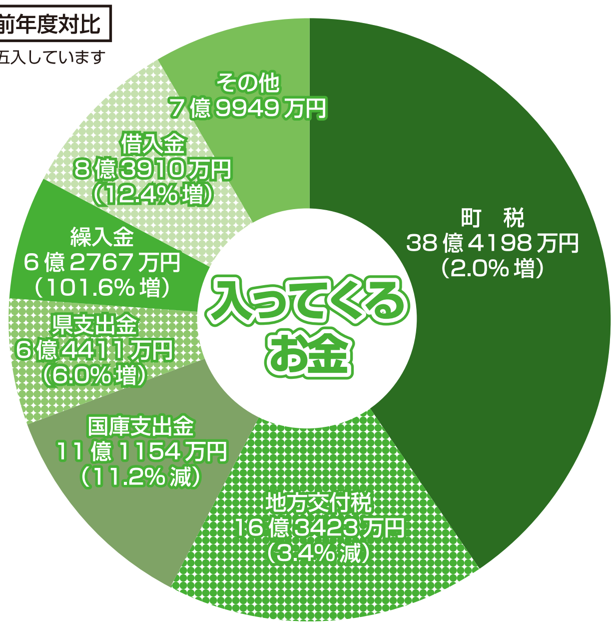
24年度一般会計新規事業と主な事業

事業	金額
妊娠保健指導事業	3107万円
こども医療費助成事業	2968万円
障害児通所支援事業	3665万円
やすらぎタクシー運賃助成事業	657万円
橋梁長寿命化修繕計画策定事業	230万円
常備消防広域化事業	730万円
JR網干駅西南土地区画整理事業	1196万円
都市再生整備計画事業	500万円
民営乗合バス運行補助事業	185万円
図書管理システム導入事業	1561万円
新庁舎建設事業	5億7026万円

※（　）は前年度対比

千円単位を四捨五入しています





「和のまち」の

平成24年度　特別会計・水道事業会計の当初予算

	会計名		予算額	前年対比	主な内容
特別会計	国民健康保険		32億5457万円	1億 576万円(3.4%増)	(歳入)国民健康保険税 7億5419万円 (歳出)保険給付費 22億 226万円 後期高齢者支援金等 4億 853万円 共同事業拠出金 3億8140万円
特別会計	介護保険		16億5286万円	△17万円(0.01%減)	(歳入)保険料 3億9515万円 支払基金交付金 4億4718万円 (歳出)保険給付費 15億2178万円 地域支援事業費 5245万円
特別会計	後期高齢者医療		2億7847万円	2537万円(10.0%増)	(歳入)後期高齢者医療保険料 2億1728万円 一般会計繰入金 5659万円 (歳出)後期高齢者医療広域連合納付金 2億6986万円
特別会計	墓園事業		1433万円	△132万円(8.4%減)	(歳出)墓園事業費 1433万円
特別会計	下水道事業		15億9688万円	461万円(0.3%増)	(歳入)使用料及び手数料 4億8777万円 一般会計繰入金 8億9321万円 (歳出)下水道費 4億1082万円 公債費 11億8607万円
特別会計	前処理場事業		9847万円	△33万円(0.3%減)	(歳出)前処理場費 8334万円
水道事業会計	収益的	収　入	4億6857万円	△ 2725万円(5.5%減)	給水収益 4億2523万円 その他の営業収益 3397万円
水道事業会計	収益的	支　出	4億6820万円	△ 2701万円(5.5%減)	原浄水費 1億6534万円 減価償却費 1億8038万円
水道事業会計	資本的	収　入	100万円	△3億6798万円(99.7%減)	工事負担金 100万円
水道事業会計	資本的	支　出	1億3076万円	△6億5394万円(83.3%減)	建設改良費 2273万円 企業債償還金 1億 803万円

■町長施政方針（ダイジェスト）

昨年3月に発生した東日本大震災を教訓として、本町においても災害に対する万全の備えを行うべく決意を新たにした。

一方、日本の経済には閉塞感が漂い、また、地域主権改革や社会保障と税の一体改革、新しいエネルギー体系の構築など日本の政治が大きく変わりつつある。

そのような状況の中で、町行政を取り巻く環境も、少子超高齢化社会の急速な進行、地方行財政構造改革の変化、社会保障費の増加など直面する多くの課題を残していますが、自主自立に向けた足腰の強いまちづくりが求められている。

●歳入の的確な確保と歳出の徹底的な削減を行い、新庁舎建設などの大型事業に重点的投資ができるよう財源の重点化と地方債などを活用した年度間負担の平準化を図る。

●住民ニーズを踏まえた事業の優先順位を決定し、その時代の流れを受け止めつつ真に必要な施策の展開に努める。

●防災拠点として、また、町民の皆様が気軽に立ち寄ることができ、親しみやすく、自由に使うことができる交流スペースなどを設け開かれた庁舎の整備を行っていく。

●夢に向かって努力を続ける子どもたちの力になって、「子どもたちの笑顔」があふれる、子育てしやすいまちづくり、人間性豊かでたくましい未来の太子町を担う子どもたちの育成に努めたいと考えている。

このためにも「第5次太子町総合計画」において、「和のまち太子」の実現に向けて、真の豊かさに満ちた生活創造への確かな歩みを町民の皆様と共に踏み出し、誰もが安心して暮らすことができるまちづくりを目指さなければならないと決意を新たにしたところである。

…以上のような考え方で24年度の予算編成にあたった。

問　やすらぎタクシーとは

答　高齢・障害者の外出支援である

橋本 恭子議員

橋本　新規事業の「やすらぎタクシー運賃助成事業」の詳細は。

町長　満70歳以上のひとり暮らし、または満70歳以上を含む65歳以上の高齢者世帯、また身体障害者手帳1級、2級、療育手帳A判定、精神障害者保健福祉手帳1級の世帯でいずれも在宅生活をし、自家用車を持たないか自動車税の減免を受けていない世帯を対象とする。

内容は、1枚500円の利用券を高齢者世帯には年間30枚、障害者世帯には年間48枚を交付し、日常生活で通院、買い物等外出する事が困難な高齢者や障害を持つ方の外出支援に寄与できるものと考えている。

産業の活気あふれるまちづくりとは

橋本　原地区新池余水吐（よすいばけ）補修工事詳細を伺う。

町長　原新池は、1万9000立方メートルの貯水能力があるため池であるが、老朽に伴い斜樋（しゃひ）からの排水機能を担っている導水管等が破損し、周辺に漏水の影響から陥没等の被害を及ぼしている。

そこで24年度に県補助事業の「県単独緊急ため池整備事業」を活用して補修工事を実施する。

その他の質問

○平成24年度各会計歳入歳出予算について

問　妊産婦への助成拡大とは

答　健診費用に3500円を上乗せする

井村 淳子議員

井村　第5次太子町総合計画に沿った平成24年度の町長の施政方針を問う。

町長　「健康でいきいきと暮らせるまちづくり」で妊婦の経済的負担を軽減し、子宮がんの早期発見のため平成24年度より現行7万円にがん検診分上乗せし7万3500円を助成する。また、4月1日以降に交付する母子健康手帳は胆道閉鎖症など先天性疾患の早期発見のため、便の色を確認できるカラーカード等取り入れ、記入しやすい手帳に改訂する。

「子ども達の笑顔があふれるまちづくり」で保育時間延長について、平成25年度からの実施に向けニーズ調査等を行う。

「安心して暮らせるまちづくり」で学校メール登録率は、平成24年2月現在の町内小学校で91・8%。中学校で77・2%。平成23年度より開始した幼稚園は81・1%である。幼少中とも登録率は少しずつアップしている。今後確認メール等運用の検討をしたい。

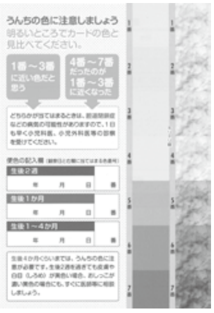
「美しくすがすがしいまちづくり」で、CO_2削減の取り組みとして、太子町のレジ袋削減の推進に関する協定を6店舗と結び、平成23年は2店舗に協力をお願いした。

井村　町長初め職員が一体となって住民生活を守るために一層の努力を求める。

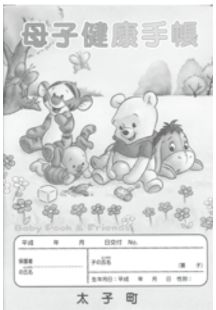
その他の質問

○快適ですみやすいまちづくりについて

○憩いふれあいがある心豊かなまちづくりについて



カラーカード



母子手帳

平田 孝義議員

問 町長の最優先施策は
答 安心して暮らせるまちづくりの実現

平田　日本の政治が大きく変わろうとする状況の中で、町財政を取り巻く環境、少子・高齢化社会の急速な進行、それに伴う地方行財政構造改革の変化と社会保障費増加等直面する課題が多い。そうした中、住民のニーズを踏まえた事業の優先順位を決定し、新庁舎建設をまず最初に挙げられているが、行政の重要な施策は。

町長　町民の皆さまが自らの生命、身体、財産に対して被害を受ける不安を覚えることなく、「安心して暮らせるまちづくり」の実現を図るためには防災対策、防犯対策、また交通安全対策等、それぞれの対策が重要な課題であると認識している。

町民一人一人が危機管理意識を高めていただき、地域住民相互の連携の強化等を図りながら活力ある地域社会づくりを推進していくつもりだ。

平田　新庁舎問題だけにとらわれることなく防災、エネルギー、税制社会保障を考えた子育て、保育、雇用、産業、教育環境等の予算を有効に活用していただきたい。

その他の質問

○子ども達の笑顔があふれるまちづくりとは
○美しくすがすがしいまちづくりとは

服部 千秋議員

問 庁舎建設による町財政は
答 影響は少ない

服部　庁舎建設は将来の民生費増加に耐えうるか。

町長　少子・超高齢化社会による子育て支援、社会保障関係経費は、政府の長期的財政ビジョンが示されず予測困難だ。財政計画で年２％の扶助費増を見込んでいる。国の定める範囲内の施策をすれば地方負担は消費税増税や地方交付金等の何らかの財源措置が行われるので、影響は少ない。

教師の指導力育成を

服部　教師の立場や学校の体面でなく、子供や保護者目線で運営する管理職をいかに育てるか。

教育長　倫理性の保持、向上に努め、常に学び続ける向上心を持ち、指導力等の資質能力の向上に努めることが求められる。校務分掌を見直し時間を見いだす。そうすれば子どもや親と接する時間が見出せ、信頼関係ができる。

ユーロ債の見通しは

服部　町が買ったユーロ債は、いつ終わりそうか。

町長　あと数年ほどで終わりそうである。

鹿対策の柵とは

服部　集落全部が無理なら、分けて囲めないか。

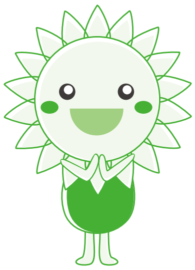
町長　到底不可能だ。

その他の質問

○文化とふれあいあふれる太子町の創造とは
○活力ある地域工業推進は
○参画と協働について
○広域化について
○前処理場について
○生活困窮者への対応は

一般会計予算委員会

町民の願い生かせ提言



約95億円の一般会計予算について、3月13日（火）から16日（金）までの4日間、予算委員会委員7名により審査した。委員会では賛成少数で否決された。（本会議において賛成多数で原案可決）

【主な質疑内容】

歳入

・町税等の滞納問題
・自主財源の確保
・たばこの町内購入促進
・ふるさと応援寄付金
・自動販売機設置

歳出

①総務費
・町内防犯灯のLED化
・嘱託事務委託契約のあり方
・新庁舎建設の基本設計実施設計について
・地域交流センターの基本設計について
・町顧問弁護士について
・職員駐車場のあり方
・町施設のパソコン等のセキュリティー対策とメンテナンス
・選挙ポスター掲示板の材質のあり方
・公用車をエコカーに
・庁用バスのあり方
・住基カード発行について

②民生費
・百歳以上及び長寿祝い金について
・社会福祉協議会への補助について
・うつ病対策と自殺予防
・障害者の社会参加促進
・障害児サポートファイルの活用
・「やすらぎタクシー」運用
・「赤ちゃんの駅」設置と利用促進
・「つくも荘」のあり方について

③衛生費
・上太田瓦礫処分場の運営のあり方
・ごみ収集の経費節減
・てんぷら油廃油回収
・レジ袋削減の促進
・犬のふん害対策
・食育推進計画に基づく町民の健康づくり

④労働費
・シルバー人材派遣のあり方

⑤農林水産業費
・町の特産品開発
・新規就農者や認定農業者の育成支援

⑥商工費
・商工会補助金のあり方
・観光協会ホームページの充実とネット販売
・「太子あすかふるさとまつり」補助金
・子どもたちへのスポーツ振興対策

⑦土木費
・橋梁長寿命化修繕計画の円滑な実施
・JR網干駅西南土地区画整理事業

⑧消防費
・「たいし安全安心ネット」の周知徹底
・消防団員の加入促進（女性を含む）

⑨教育費
・思春期の子どもたちへの教育について
・各学校への監視カメラ設置等
・学校メール配信の充実
・自然学校のあり方
・幼稚園スクールバスの方向性
・図書検索システムの導入のあり方
・購入図書の選定方法

※ の部分は、新規事業

幼稚園スクールバス

予算委員会委員

委員長　橋本　恭子
副委員長　中島　貞次
委員　井川　芳昭
〃　吉田　日出夫
〃　平田　孝義
〃　首藤　佳隆
〃　堀　卓史

■すべての条例を原案どおり可決

人権擁護委員の推せんにつき意見を求めることについて	全員賛成で推せん決定
人権擁護委員の推せんにつき意見を求めることについて	全員賛成で推せん決定
学校歯科医の増減につき意見を求めることについて	全員賛成で答申決定
固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	原案同意
平成23年度兵庫県太子町一般会計補正予算	賛成多数
平成23年度兵庫県太子町国民健康保険特別会計補正予算	賛成多数
平成23年度兵庫県太子町介護保険特別会計補正予算	賛成多数
平成23年度兵庫県太子町後期高齢者医療特別会計補正予算	全員賛成
平成23年度兵庫県太子町墓園事業特別会計補正予算	全員賛成
平成23年度兵庫県太子町下水道事業特別会計補正予算	賛成多数
平成23年度兵庫県太子町前処理場事業特別会計補正予算	賛成多数
平成23年度兵庫県太子町水道事業会計補正予算	賛成多数
斑鳩小学校屋内運動場改築工事変更契約	賛成多数
町道路線の認定	賛成多数
太子町税条例の改正	全員賛成
太子町福祉医療費助成条例の改正	全員賛成
太子町介護保険条例の改正	賛成多数
太子町下水道条例の改正	賛成多数
兵庫県市町村職員退職手当組合規約の変更	全員賛成
西播磨地域消防広域化協議会の設置	全員賛成
平成24年度兵庫県太子町一般会計予算	賛成多数
平成24年度兵庫県太子町国民健康保険特別会計予算	全員賛成
平成24年度兵庫県太子町介護保険特別会計予算	全員賛成
平成24年度兵庫県太子町後期高齢者医療特別会計予算	全員賛成
平成24年度兵庫県太子町墓園事業特別会計予算	全員賛成
平成24年度兵庫県太子町下水道事業特別会計予算	賛成多数
平成24年度兵庫県太子町前処理場事業特別会計予算	賛成多数
平成24年度兵庫県太子町水道事業会計予算	賛成多数
新庁舎建設調査特別委員会の設置	賛成多数

新庁舎建設調査特別委員会

委員長　中島　貞次
副委員長　首藤　佳隆

≪１班≫基本コンセプト検討分科会（庁舎全般、周辺整備等）
◎服部千秋　〇井川芳昭 清原良典　吉田日出夫　平田孝義　福井輝昭　森田眞一
≪２班≫議会関連施設検討分科会（議場、委員会室、議会中継等）
◎首藤佳隆　〇中薮清志 橋本恭子　中井政喜　井村淳子　藤澤元之介　堀　卓史

※◎分科会代表　〇副代表

【主　　旨】平成24年度新庁舎建設に関して基本設計及び実施設計が実施される。議会として特別委員会を設置して新庁舎建設に関する調査研究を行い、当局に具体的な提言並びに要望を行なっていく。

【委員構成】議長をのぞく全議員

【分 科 会】以上の通り分科会を設置して調査研究を行う。

平成23年度一般会計予算は、9979万円を追加し、97億8592万円としました。
補正の主なものは、繰越事業の石海小学校と太田小学校の耐震補強工事費や自治会放送施設新設及び更新費などで、原案どおり可決しました。

学校耐震化率100％達成へ

一般会計補正予算

【内容】

問　橋梁点検の委託料減額内容は。

答　JR3橋の点検で、線路上以外の部分は前年度に実施したため。

問　総合公園の用地購入費の減額、面積を下げたということだが、その内容は。

答　平成23年度に山林3筆、6490・7㎡の購入を行ったもので、当初購入予定面積と金額の減による。

問　自治会の放送設備負担金補助金の内容は。

答　2地区（吉福・東南）の放送設備更新等も含め補正。

問　石海および太田小学校の耐震工事と共に学校の防災機能強化、エネルギーの関係も含め今後の考えは。

答　耐震補強工事のほかにトイレの改修はするが、太陽光発電等についての対応は予定していない。

太子陸橋

特別会計補正予算

問　介護保険システム改修委託料追加525万円の改修内容は。

答　平成24年度から介護保険料の改正年度になっており、3月から予備準備期間として契約。

問　後期高齢者医療広域連合保険料納付金追加とは。

答　広域連合で途中加入者等が増え追加する。

問　揖保川流域下水道維持管理負担金の追加理由は、処理水量だけではなく、施設の修理費も含まれているのでは。

答　建設事業、維持管理費も含め、管理費用として充当する費用で、それらの基礎になるのが、処理水量で負担することになる。

項目		予算補正額	主な内容
一般会計		9978.6万円	小学校耐震補強工事費等の増
特別会計	国民健康保険	▲8697.3万円	一般被保険者療養給付費の減
	介護保険	540.4万円	介護保険システム改修委託料の増
	後期高齢者医療	427.1万円	後期高齢者広域連合納付金の増
	墓園事業	▲103.0万円	一般会計繰出金の減
	下水道事業	695.2万円	下水道維持管理負担金の増
	前処理場事業	▲3.9万円	人件費　手当の減
	水道事業	360万円	退職手当組合特別負担金等の増

条例改正が可決

【改正内容】

太子町税条例の改正

①たばこ税の税率改正（平成25年4月1日施行）による税収増［県から市町へ1000本当たり644円委譲］

②退職所得に係る個人住民税額の10％税額控除の廃止（平成25年1月1日施行）

③東日本大震災に係る雑損控除額等の対象期間延長（公布日から施行）

④個人の町民税の税率の特例（公布日から施行）平成26年度から35年度までの10年間、年間500円の引き上げ

介護保険料の改正

第1段階2万4300円を2万7420円に引き上げる。

最大第6段階7万2900円が第7段階9万480円に改正する。（6段階7階層→7段階9階層へ）

■第4条　保険料区分の改正内容

現行			改正後	
区分	保険料(年)		区分	保険料(年)
第1段階	24,300円	→	第1段階	27,420円
第2段階	24,300円	→	第2段階	27,420円
		→	第3段階(1)	38,380円
第3段階	36,450円	→	第3段階(2)	41,130円
第4段階(1)	40,330円	→	第4段階(1)	45,510円
第4段階(2)	48,600円	→	第4段階(2)	54,840円
第5段階	60,750円	→	第5段階	68,550円
第6段階	72,900円	→	第6段階	82,260円
		→	第7段階	90,480円

中薮 清志議員

問　住民票等、証明書の休日交付はできないか

答　住民サービス向上のため新庁舎建設と併せて検討

中薮　昨年度、約１７０００件の住民票交付が行われたが、平日だけでは不便である。利便性向上のため、自動交付機の設置または、平日に電話予約を行い休日受け取り方式はとれないか。

生活福祉部長　現在、窓口の時間外延長、夜間休日受付専用窓口「夜間ポスト」を設置し対応。住基ネットの活用で勤務先等の市町村で広域交付が可能である。自動交付機は、住民票交付のみで約４０００万円の経費が必要。ただ、住民サービス向上の重要課題なので新庁舎建設に併せてサービスのあり方を検討したい。

中薮　住民が不便を感じていることを認識し、徹底してＰＲすべきだ。

生活福祉部長　さらに広く周知するため広報に再度掲載しＰＲに努めたい。

子どもの通院医療費無料化を求める

中薮　中３までの無料化には平成23年度予算より新たに７９００万円必要だが、就学前の子ども等に絞り実施できないか。

生活福祉部長　就学前の子どもでも年間約３５０万円必要となり非常に厳しい。県の子ども医療費助成は平成26年度までで県もその時に再考する。県の動向、景気、財政状況を見ながら再検討する。

問　庁舎建設の財政面は

答　自主財源10億4000万円、町債16億8000万円等で対応する

吉田 日出夫議員

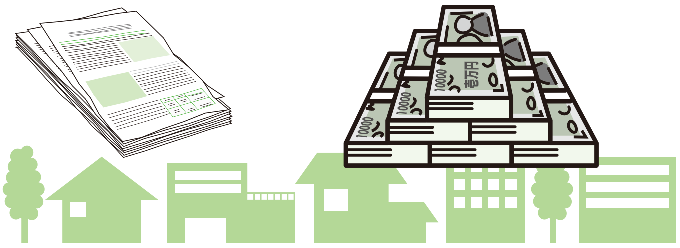
吉田　町の税収入を考え、太子町にふさわしい、安くて安全・安心な庁舎建設を考えるべきだ。

①財政面は大丈夫か、庁舎建設資金の有無を問う。庁舎建設面積、資金総額、借入金額、返済年は。年支払い可能金額は。

②基本設計のスケジュール、進捗状況は。

③庁舎以外の工事計画の有無は。

④町主催の町民懇談会は。



町長　①延床総面積は地域交流センターを含め約7000㎡で、総事業費は約29億円を見込む。財源は国の交付金1億8000万円、税・基金等の自主財源10億4000万円、町債（借入金）を16億8000万円、約1億円を20年間で返済予定。

②平成24年度から実施予定。職員の検討委員会、外部委員の太子町新庁舎建設検討委員会で協議をしている。今後は町民からも意見を聞いていきたい。

③庁舎敷地内に地域交流センターを併設する予定である。

④まちづくりの集いとして3月17日太子東中、18日太子西中で実施する予定。町ホームページや戸別チラシによる広報で、十分に周知していきたい。

吉田　議会や住民の方々の意見をきちんと踏まえた上で、今後は進めていただきたい。

問　ＪＲ踏切高架事業の進捗状況は

答　平成24年度に詳細設計を完了させる

首藤 佳隆議員

首藤　ＪＲ踏切高架事業の具体的スケジュールは。

経済建設部長　現況測量がほぼ終了し、平成24年度に詳細設計が完了する予定。今後、平成30年度の事業完了を目標とし、順次用地買収等を進める。

首藤　網干駅西の茶ノ木踏切の渋滞解消は町民の関心事であるから、網干駅へのアクセス強化、賑わいのある商業地ということも併せて、地元住民への定期的な説明会等の実施を求める。

陸橋・歩道橋の耐震化

首藤　老朽化している網干総合車両区を跨ぐ3本の陸橋、また子どもたちが通学通園に利用している歩道橋の耐震化及び整備、維持管理は。

経済建設部長　陸橋については橋梁長寿命化修繕事業の中で、耐震化、雨漏りや錆付き等の補修、維持管理を含む長寿命化に努める。町管理の2つの歩道橋（福地・平方）については、耐震点検調査等を実施するほか、環境的な部分は通常の維持管理で十分に注意する。

首藤　公共施設およびインフラについては、中長期的な整備計画、予算計画を立て、安全安心のまちづくりを求める。

その他の質問

○空き家・空き店舗対策は

茶ノ木踏切

森田 眞一議員

問 マンモス化した太田小学校の今後の見通しは

答 平成23年度をピークに児童数は減少していく

森田　①児童数が1100人を超え学校全体が飽和状態寸前の状況にある。今後の見通しと教育環境の改善についての考えは。

②人口増が、ある校区に偏らないような計画的なまちづくりをもっと積極的に取り組むべきでは。

教育次長　①社会増は若干あるものの、学級数は平成22年度の39学級、児童数も平成23年度の1120人をピークに減少していくと推計している。

また、学校の適正規模化には通学区域の変更と新設があるが、当面現状に即した対応をとりつつ、大規模校のメリットを生かしながら教育環境の整備充実に努める。

副町長　②町全体では市街化区域にまだ家が建つ余地がある状況で、他の校区の調整区域を市街化区域に編入することは非常に難しい。

カラス対策について

森田　太田幼稚園西辺りから東保交差点にかけ、国道沿いの電線にカラスの大群が朝夕飛来し、歩道上にふんを落とし衛生的にもよくない状況だ。何か良い対策はないか。

経済建設部長　関西電力に依頼して該当箇所の電線、電柱に、止まり防止対策を講じている。今後東保交差点付近にも防止装置を設置すると聞いている。

太田小写真

中島 貞次議員

問 障害者用駐車場の不正利用対策は

答 「ゆずりあい駐車制度」を行う

中島　公共施設や大型商業施設等で障害者用の駐車スペースに健常者が利用している場合が見られるが対策は。

生活福祉部長　平成24年4月より「ゆずりあい駐車制度」が始まりステッカーを交付し、優先駐車できるようにする。

中島　障害者以外にも妊婦等利用できると思うが対象者と申請方法は。

生活福祉部長　利用対象者は障害者、高齢者、妊産婦等である。社会福祉課とさわやか健康課が申請窓口になっている。

ゆずりあい駐車ステッカー

放射線教育について

中島　4月から中学理科で放射線教育が実施されるが、取り組みとその必要性は。

教育長　放射線は、危険なものとの認識が一部であるが、自然界に普通に存在する。学校では、科学技術と人間生活とのかかわり、自然環境の保全等を学習し、その必要性は高まっている。

中島　福島第一原発事故で放射能は危険なものとの認識が全国に広がっているが教育現場ではどのように指導するのか。

教育長　副読本を作成し、放射線の基礎知識から人体への影響、事故が起きたときの心構え等を指導していく。

その他の質問

○自治体クラウドについて
○住基カードの利用促進について
○保育所、幼稚園のアレルギー対策について

問「総合こども園」（仮称）への取り組みは

答 国の動向を見ながら、検討・研究する

福井 輝昭議員

福井　平成27年の「総合こども園」実施に向け、幼稚園・保育所の移行形態、幼保一体化に伴う免許と資格。利用者負担額、また保育の必要性の認定基準は。

生活福祉部長　保育教諭（仮称）は幼稚園教諭免許と保育士資格の併有が原則で所管は未定。現行保育制度の利用者負担を基本ベースとし、必要性の認定基準は国が定める。

教育次長　国の指針等踏まえ移行の形態を決定する。また利用者の負担額は基準が示されてから町の基準額を検討する。

福井　幼保一体化は幼児教育資質の向上が求められる。そこで太子町の待機児童数および新システム事業計画の策定時期、周知については。

生活福祉部長　職員研修等で資質の向上に取り組む。また待機児童は100%充足している。事業計画策定にはニーズ等調査し、法律が制定された後、町において具体案が固まり次第、周知に努める。

教育次長　幼稚園からの移行は「満3歳児」以上の受け入れ義務、また学校教育を保障するとし、3歳児の受け入れについて検討していく。時期は未定。新システムの情報等は少なく、現時点で周知はない。

斑鳩保育所

問 子ども支援策について

答 不安を解消する体制づくりに取り組む

平田 孝義議員

平田　若い人たちが仕事と子育てを両立できるように経済的負担を軽減する施策や、子ども医療費の完全無料化は。

生活福祉部長　子育て支援は重要な課題、悩みや不安を解消する相談体制や交流の場の確保に取り組んでいきたい。医療費は幅広い年齢の子育てを支援するために県の制度よりも対象年齢を拡充した助成をしている。保育は共働き家庭の増加、就労形態の多様化に対応するため、できるだけ多くの乳幼児が保育所に入所できるよう調整に取り組んでいる。利用者の生活実態に応じた多様な選択が可能な環境づくりを推進する。

消費税問題について

平田　消費税増税は低所得者に重くのしかかる不公平税制改革だが、見解は。

総務部長　国民的議論がなされている中、地方自治体の一団体として、賛否に言及する立場ではないと考えている。

消防広域化について

太子消防署

平田　短期間に組織される広域化で、災害から町民の生命、財産を守れるのか。

総務部長　多様化するニーズに答えると共に迅速な活動により消防の役割が充実すると考えている。

その他の質問

○若い人たちの移住と、それに伴う定住促進について

服部 千秋議員

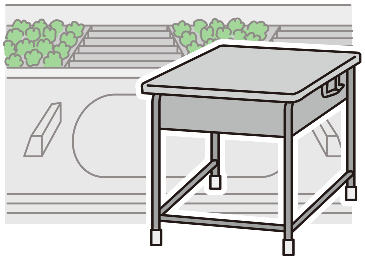
問 不登校児童・生徒に適応教室を開設できないか
答 すぐには開設できない

服部　①中学校の生徒指導の改善は見られるか。
②不登校の生徒に適応教室を開設できないか。

教育長　①問題行動への特効薬はない。中学校は少しずつ落ちつきを取り戻している。
②不登校は3年間の平均で、龍田小・斑鳩小0人、太田小1・3人、石海小0・7人、西中12・7人、東中15・7人。他市町の例では適応教室には行ける児童・生徒もおり、有効な一つの施策だ。しかし人的問題、ハード面の整備が必要で、すぐには開設できない。

服部　ALTの増員を以前の一般質問で求め、新年度1名増員はありがたい。指導主事を他市町のように置くべきだと以前言ったが、これも実施すべきだ。前回、教育長から乱れているのは一部の生徒で生徒指導は機能しているとの答弁があったが、機能していればあそこまでならない。余り自分たちを正当化するようなことを言われると非常にショックだ。子どもや親の立場に立って自分たちが改善すべき点について考え、もっと頑張っていただきたい。

その他の質疑
○職員のボランティア休暇について
○参画と協働の実態と評価について
○情報のバックアップについて
○地域包括センターの運営について
○役場が情報を開示しない姿勢について
○町長の再出馬について



一般質問

質問者	要旨	
中薮　清志	◎住民票等の休日交付を	◎子供の通院医療費無料化は
吉田日出夫	◎新庁舎建設について	
首藤　佳隆	◎JR網干駅周辺のまちづくりについて	◎インフラ整備について
	◎空き家・空き店舗について	
森田　眞一	◎マンモス化した太田小学校の教育環境の改善について	
	◎カラス対策について	
中島　貞次	◎自治体クラウドについて	◎住基カードの利用促進について
	◎障害者用駐車スペース適正利用促進について	
	◎保育所、幼稚園のアレルギー対策について	◎放射線教育について
福井　輝昭	◎新しい子育て支援制度「子ども、子育て新システム」	
平田　孝義	◎定住促進について	◎子ども支援策について
	◎住民が安心して暮らせる施策について	◎消費税問題について
	◎消防広域化について	
服部　千秋	◎職員のボランティア休暇について	◎参画と協働の実態と評価について
	◎情報のバックアップについて	◎地域包括支援センターの運営について
	◎太子町の教育について	◎役場が情報を開示しない姿勢について
	◎町長の再出馬について	

常任委員会報告

庁舎建設の調査を特別委員会にバトンタッチ！

総務委員会

委員会では所管分野を超えて調査できないため、3月定例会で「新庁舎建設調査特別委員会」を設置し調査することになった。

総務委員会は新庁舎建設について、宍粟市役所視察、9月議会での中間報告の提言、町民懇談会の実施、真庭市視察、新庁舎建設検討委員会の内容の調査、西播磨6市町の調査および庁舎建設に関する具体的項目の検討などを最終報告した。

報告内容

①住民が憩える場としての喫茶コーナーまたはくつろげる空間内の自販機設置
②展示スペースの検討の必要性
③ローカウンターの必要性
④キッズスペースの必要性
⑤休日開庁の調査の必要性
⑥神姫バスの庁舎乗り入れの検討
⑦景観形成への配慮と瓦ぶき

《特別委員会への申し送り事項》

①総務委員会の調査内容の上に立って進めること。
②町民懇談会で、時期を見て再度懇談会を開いて欲しいとの強い意見があったことを踏まえて活動すること。

《町への要望事項》

町が行った野々市（ののいち）市視察の口頭報告を求めたが資料の提出のみであった。今後は庁舎建設の検討過程において情報開示するとともに、議会側の意見を取り入れる姿勢をもつこと。

《議案審査（3月12日）》

・「西播磨地域消防広域化協議会の設置について」…現在たつの市に消防を委託しているが、国・県の指針にもとづき消防事務を広域化するもの。赤穂市・上郡町を除く西播磨地域で広域化する内容。可決すべきものとして本会議に報告。

附帯意見「住民の生命・身体及び財産を守るため、消防本部において、出動体制、保有する消防車両（救急車両）、専門要員の確保をすること。」

・「太子町税条例の一部を改正する条例の制定について」・・・内容はたばこ税の県と町の配分の変更、防災関係に使用するため町民税を500円増額することなど。可決すべきものとして本会議に報告。

附帯意見「町民税の税率の特例分（500円）は、防災・災害対策を主にした安全・安心のまちづくり施策に使うこと。」

真庭市視察（1月23日）

食育の目指すものは

福祉文教委員会

平成23年10月から平成24年2月まで課題について近隣団体を比較調査し提言をまとめた。

（調査は学校給食センター方式で実施の赤穂市／たつの市新宮・御津／宍粟市山崎・ちくさ／佐用町の6団体）

提言（抜粋）

学校給食の地産地消について

太子町の農業は、米を作る兼業農家が主であり、野菜は自家消費用として少しずつ生産している。そのため野菜を市場商品として生産するという意識や体制が育っていない。このような環境では、学校給食の地産地消の問題を給食共同調理センターや太子夕市部会のみの問題として考えるのではなく、地産食材の納入を依頼することができる体制、組織を農業施策全体として確立させることが必要である。また日ごろ食べている食材が生産される過程に関心を持ち「食」の大切さや農業の役割、地域の食文化などに対する理解を深め、感謝のこころや郷土愛を育むことが大切である。

子どもたちの健康を守るため新鮮な農産物を取り入れ、安心安全な「食」と「農」の結びつきを身近に感じる学校給食を目指すこと。

食物アレルギーの子どもたちに学校給食を

当町における、何らかの食物アレルギーを持つ児童生徒は全体の6％である。アレルギー対応食を実施している佐用町が、希望者から医師の診断書や家庭での対応の有無を条件としていることを踏まえると、当町における対象者は少なくなると考えられる。しかし、アレルギー対応給食を実施するためには人的、物理的環境の整備を図る必要があることから現在の施設では対応不可能と思われる。

今後、給食センターの改築や建て替えの時には対応を考えること。

委員会付託案件

太子町福祉医療費助成条例の改正、太子町介護保険条例の改正、国民健康保険・介護保険・後期高齢者医療・墓園事業の各特別会計の予算審査を行い、いずれも全員賛成で可決した。

課題

「学校給食費のあり方について」は、国の制度や近隣市町の取り組みについて、引き続き調査を行う。

給食センター

常任委員会報告

前処理場事業委員会で否決

経済建設委員会

委員会では、立岡山北配水地整備事業について調査を行った。追加工事の話は出ているか、工事騒音・有価物の売却代金・産業廃棄物処理費用や安全面での対応等の質疑をした。

その他にも危険箇所の対応について調査研究した。

3月議会において当委員会に付託されたものを審議した。

下水道条例の改正

問　平成24年4月から5年間、下水道料金を1㎥につき225円を、年々5円ずつ上げて、250円まで上げていくとあるが。

答　前処理場に関わるもので、兵庫県と姫路市、たつの市、太子町と業界との協定に基づき、5年間分の年度別料金を決定している。

（賛成多数により可決）

前処理場事業特別会計

問　24年度の予算約8300万円1日当たりにすると約23万円を町が負担している。立ち上げ当初からの建設費、維持管理費すべて合わせると40億円近くの費用がかかっている。

これから先、前処理場のあり方について、少しずつでも議論する場を置くことも必要ではないか。

答　現在、操業している会社3社、休業5社で皮革産業全体の流れの中でも難しい問題である。すべてを包括した中で考えていかないといけない。すぐに取り組むことは出来ない。

（賛成少数により否決）

※本会議で原案可決

水道事業会計

問　地域水道ビジョンの中で、沖代水源地は必要か。

答　全体として余剰水量があるので、今後、存続が課題となってくる。

問　事業所の任意保険料、23年度は約29万円だったが、24年度は15万円になっているが。

答　昨年は一般車両4台計上したが、今年度は3台となり、全国自治協会の保険に変えたので、この単価になった。

（賛成多数により可決）

その他に町道路線の認定、下水道事業特別会計について審議した。

（いずれも可決）

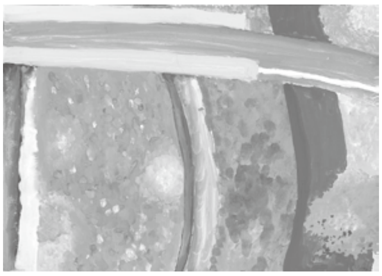
太子前処理場

ご応募ありがとうございました

表紙（太子東中学校美術部）

3年1組
山本　桃香

3年2組
小園　理緒



2年（4名グループ）
原口　真緒
北川　桃
竹下　綾
福永　怜菜

選考風景

3年5組
八木　美咲

3年2組
森重　朝香

ひと、まち、ともに60年

玉田　晶久さん（松田）

生年月日：昭和27年1月12日生まれ

小学生と古代米を作り、地球と遊ぶおじいちゃん

古代米の田植え

「18年前、役場において古代の衣・食・住・音楽4分野のイベント計画があった。その中の『食』分野で企画して欲しいと依頼があり古代の食文化を考えるため、地域の友人5人と『古代米作り』を始めた。田んぼで地域の小学生と田植え、稲刈り、脱穀を出来るだけ古い農法で実施して『太子あすかふるさとまつり』で古代米を使ったポン煎餅、お餅、饅頭などを販売しているんです。」と語る玉田さん。休日は専ら、春は山菜採り夏山縦走、秋のキノコ狩り、雪山スキーなど地球を相手に遊び、各地のウルトラマラソンに生活用具をリュックに詰め込み野宿で参加、最近では蕎麦打ちにもチャレンジしているそうです。還暦を過ぎても常に挑戦し続ける人生でありたいと願っている玉田さんでした。

鳥取・大山にて

玉田さんに聞きました！

太子町の子どもたちへ

檀特山、立岡山など身近にたくさんの良い山がある。自然から学ぶことは本当にたくさんある。もっと身近な自然に触れたらいいのにと思います。

太子町のイメージ

太子町はこじんまりとしているが必要なものは大体そろうまとまった街。昔からの住人と新しい人が上手に混ざり合っているのが良い。

編集後記

◆木々の緑も芽吹き、旅立ちと新たな出会いが交錯する新年度を迎えました。

今号は、3月定例会の概要をお知らせいたしました。今後の予算執行に当たって、皆様の代表として行政の動きを厳しくチェックしてまいります。我々メンバーでの「議会だより」の編集発行も今回が最後となりました。

表紙の題字、絵、原稿の依頼や、写真撮影などご協力を頂いた多くの皆様に編集委員一同、心からお礼申し上げます。1年間ご愛読いただきありがとうございました。

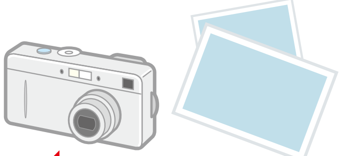
（井村　記）

表紙写真募集

当議会だより表紙に掲載することを目的に、「季節感のある太子町」をテーマにした写真作品を募集します。

※注意　応募者は作品の著作権を保有し、被写体の持つ諸権利（特に肖像権）に関して全責任を持つものとする。

応募方法はメールもしくは郵送、持ち込みにて受け付けますが、応募者の氏名連絡先は必ず添付して下さい。



詳しい応募要領は議会事務局までお問い合わせ下さい。

◆寄附行為の禁止

議員は町内会の集会や旅行などの催物への寸志や飲食物などを差し入れることは禁止されています。

◆編集　**広報広聴常任委員会**

委員長　中島　貞次
副委員長　堀　卓史
委員　中井　政喜
〃　井村　淳子
〃　首藤　佳隆
〃　藤澤　元之介
〃　中薮　清志

あなたの「声」をお聴かせください

議会だよりを読んでのご感想などお聴かせください。

お問い合わせは 太子町議会事務局 まで

太子町議会だより No.162
発行日 平成24年4月25日
発行／兵庫県太子町議会
〒671-1592 兵庫県揖保郡太子町鵤1369番地1
TEL：079-277-5995　FAX：079-277-2202
E-mail：gikai@town.hyogo-taishi.lg.jp